

# 意見交換会実施報告書（公募）

【1班】

開催団体	八幡地区コミュニティ協議会	参加人員	26人			
開催日時	平成27年11月10日（火）19:00～20:30					
開催場所	八幡地区コミュニティセンター					
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	徳永 武次	○	司会進行	今塩屋裕一	○	記録・報告書作成
	持原 秀行	○		福元 光一	○	
	井上 勝博	○		帯田 裕達	○	
	佃 昌樹	○				

## 意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

### ・ 地域振興住宅の建設について

#### 《意見交換の概要》

- ◆ 平成25年11月に借上型地域振興住宅が2棟2戸建設され、現在2家族が入居されている。さらに地域振興住宅を建設してほしい。政策的な議員の意見を聞きたい。
- ◇ 住宅政策については、新しく安くてきれいな住宅に若い人達が集まる傾向にあるが、住宅政策に加え、地域とのコミュニティ環境の構築・充実も必要である。
- ◇ 地域性に合った地域振興住宅の建設や民間の借家の整備も考えるべきではないか。
- ◇ 地域の空き家や土地の情報共有や提供が必要ではないか。
- ◆ 学校の統廃合問題について議員はどう考えるか。
- ◇ 学校の統廃合問題には反対。小規模校での集団学習など他市の事例もある。学校を廃校にしたくないという地域の意気込みがあるところは閉校してはいけない。
- ◇ 廃校がいいという人はいない。廃校しない方法については、もっと早い段階から対策などを考えるべきである。他力本願では難しい。地域の人たちの力が不可欠である。
- ◆ 学校の統廃合の噂が出れば、その地域には人は移住してこないと思う。ここは廃校しないという明確な指針があれば、移住してくる人がいると思う。廃校しないという明確な指針を出すべきである。
- ◆ 今回の地域振興住宅の建設要望は、八幡小の生徒数があと1～2名ほど増えることで複式学級が解消され単式学級になることからの要望である。八幡幼稚園、八幡小学校の施設は大変良い。ただ現在は複式学級の授業のため、複式学級が解消され、単式学級、少人数学級の良さ、八幡小学校の教育環境の良さがアピールできれば、今後生徒が増えると期待している。したがって、今回の要望となった。  
市営住宅についても現在空家である。勝目では、家賃は5千円程度上がるが、リフォームしてもよいという制度がある。それを見習い、導入してはどうか。また、子供がいる世帯の要望を聞いてはどうか。単式学級にするための喫緊の課題であるためぜひお願いしたい。
- ◇ 行政の方針として、地域の理解がなければ、廃校にはならない。地域の声を届けるために、市議会としてもその声に寄り添っていききたい。
- ◆ 複式学級解消に向け、ぜひとも、予算を地域振興住宅建設へ回してもらいたい。
- ◆ 人口が一極集中しないようかつ全体的に人口が増えるよう市議会も努力してもらいたい。
- ◇ 民間の力も含めて努力していかなければならないものとする。

- ◆ 教育指針について、現在の方針は短い期間で方向転換するのではないか。不透明であるので透明性をもとめる。
- ◇ 学校統廃合問題については、地域で守っていくといった活動や一体感があれば、それに対して市議会も応援していく。
- ◆ 東市来の事例から、市と地域が一体となって、地域振興住宅を整備したところ、東市来小学校の生徒数が25人ほどから3倍ぐらいになった。地域振興住宅建設だけでなく、地域での子育て支援、コミュニケーション、盛り上げがあつての実績。市と地域が一体となって支援していく必要がある。そのような先進事例を市議会も取り入れ、政策提案してほしい。
- ◆ 市広報紙に市営今村住宅の空室情報が記載されていなかった。どうなっているのか。情報発信すべきではないか。
- ◇ 市営今村住宅の募集やリフォーム等については、市当局に伝えていきたい。